

浜岡原子力発電所 東門ゲートモニタの運用開始(9月2日)について

2019年8月30日

当社は、浜岡原子力発電所に入出入りする車両の放射線を監視するため、発電所正門に放射線モニタを設置し、2014年8月25日に運用を開始しました。(2014年8月20日 お知らせ済み)これは、車両の中に誤って放射性物質により汚染された物品が混在したまま発電所外へ搬出されることを防ぐためのものです。

今回、発電所正門に加え、東門にも放射線モニタ(以下、「東門ゲートモニタ」という。)を設置し、2019年9月2日から運用開始することとしましたのでお知らせします。運用開始の目的は、東門からも1,2号機の解体撤去等を積載する車両の搬出を可能とするためです。

また、東門ゲートモニタの運用開始に伴い、運転情報等でお知らせする内容を一部見直します。見直し内容は、以下のとおりです。

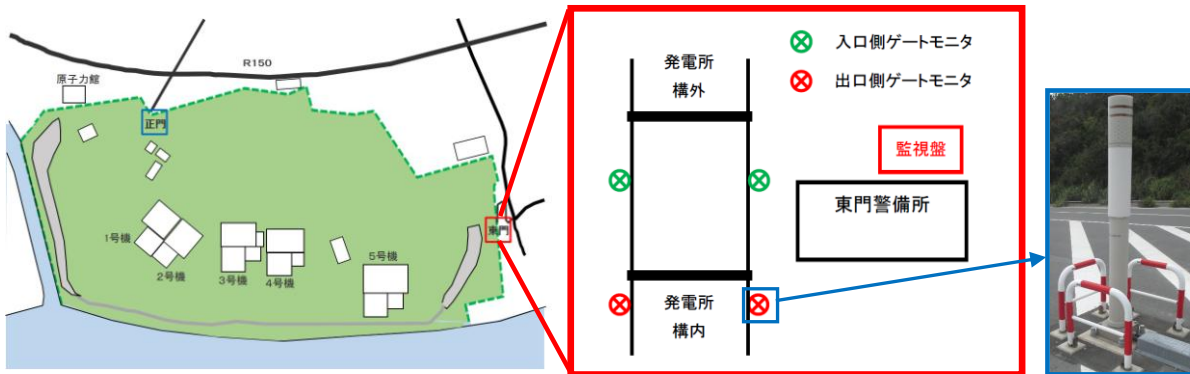
【「運転情報等でお知らせする内容について」の見直し内容】

表1-10「発電所ゲートモニタの警報が点灯し、詳細調査の結果、放射性物質または放射性物質により汚染された物品が認められたとき。」説明内容の追加

<追加前> 「発電所ゲートモニタ」とは、発電所正門に設置した放射線モニタをいう。

<追加後> 「発電所ゲートモニタ」とは、発電所正門および東門に設置した放射線モニタをいう。

(運転情報等でお知らせする内容については、[こちら](#)をご覧ください。)



東門ゲートモニタの設置位置(概略図)

東門ゲートモニタの例

以上